



絶対あってはならないことの一つに「患者誤認」という取り間違えがあります。病院では、患者さんにフルネームでお名前を言っていただくように呼びかけて誤認を防止しています。

同姓同名の場合は、電子カルテ上に“同姓同名あり”の表示が出ます。入院病棟などで、名字が同じあるいは語感が似ている、名前が同じ場合などに、さまざまな注意と工夫が取られています。

外来診療でも同様です。私もスタッフの一員として、患者さんが入室された際、患者さんの氏名と生年月日を名乗っていただき確認するようにしています。同姓同名で年齢も近い場合は、生年月日をお聞きすることで、誤認防止が可能となります。

患者誤認などのエラーは、確認作業が何らかの原因で、できなかつた時・しなかつた時に発生しているように思います。今後とも一層の注意を行っていきたいと思います。

医療安全小委員会委員 石神 慶一郎



医療安全パンフレットのご紹介

お名前の確認

お名前の確認は医療安全の基本です

お名前をフルネームでどうぞ！
生年月日や住所をお聞きすることもあります

お薬の確認

お薬の名前を薬剤師と共に確認しましょう。
お薬手帳をお持ちください。
服用しているお薬を持参しましょう。

アレルギーの確認

アレルギーのある方は、必ずお知らせください。

転倒・転落の防止

院内感染防止対策

わからないことはお尋ねください

医療安全パンフレット

患者さんやご家族と共に
築きあげる医療安全

当院では患者さんの安全を守るために医療スタッフと共に患者さんやご家族の方にご協力を頂きたいと考えております。

金沢医科大学 氷見市民病院

医療安全パンフレットをご利用ください。
正面受付・待合フロアなど病院内においてあります。

医療安全研修会

「強いチームを作るために医療安全とコミュニケーション」というテーマで、平成24年2月8日（金）6階多目的ホールでANAラーニング専属講師の平良 未散 先生をお招きし、医療安全研修会を開催いたしました。

サービスの中で最も重要な「安全」の確保と「安心」してご利用いただくために航空業界で行われているスキルやエッセンス、講師ご自身が、体験された他病院での出来事などを、織り交ぜながらご講演され、興味深く学ぶところも多い研修会となりました。



医療安全小委員会 各委員の医療安全活動

薬剤部 委員 より

【薬剤の疑義照会について】

医師の指示した処方箋内容に疑わしい点がある時は、その処方箋を交付した医師に問い合わせ確認しています。確認後調剤を行っています。また、院外調剤薬局からの相談窓口となって、医師に問い合わせ、薬が適正に使用されるように安全な薬剤管理を行っています。

問い合わせ内容は、用法・用量・重複・配合変化・ハイリスク薬の休薬期間の有無などです。

薬剤部からの問い合わせ件数は、平均 95件/月 です。また、医師の修正依頼も受け付けています。

看護部 委員 より

【転倒・転落防止やルート自己抜去防止について】

入院患者さんの転倒リスクを有している患者さんが多く、転倒・転落や点滴や胃管などのルート自己抜去などの件数が多数占めています。事故を未然に防ぐための取り組みの一部を紹介します。

☆ 入院時危険度アセスメントスコアシート記入しリスク評価

☆ 定期的に医療安全常任委員・リンク委員などで、各部署のラウンドを行い、適切なスコアシートの記入や観察シートの記入が行われているか確認し、フィードバックや改善見直しをしています。

これからも、患者さんの安全性が向上されるように、取り組んでいきます。

患者さんの安全を保つために職員一同が協力していくことが大切です。